

子どもたちの学力対策

伊川 京子 議員



子どもたちの学力について、4月に行われた県の学力調査では厳しい結果が出ている。こうした結果を受け、教育委員会では学力対策の先進地である福井県を視察された。先進地視察の成果を各学校での授業改善や学力対策に生かすということであるが、どのようなことがあげられるか。

A 先進地視察の成果としては、市独自の学力調査の実施時期を意図的に年間を通して設定している点を、本市においても取り入れたい。また、8月に開催した教育実践研究会において、全教職員での共有を図り、さらなる学力対策等に積極的に活用する。また、小中連携プロジェクトにおいて、学力対策を含めた教育施策の立案や議論に生かしたい。



教科書採択について

中瀬 昭隆 議員



教科書謝礼問題について、6月議会で教科書会社から受け取った金品は返却し、金品を提示した会社の教科書を採択しなかったため、採択に影響はなかったとの答弁があった。公務員、しかも、子どもたちに模範を示すべき立場の教員が「もらったものを返したから問題ない」ということを、子どもたちにどのように説明するのか。また、文部科学省や県にも問い合わせたが、教育長の関与をどのように思っているのか。

A 教科書選定における本市教育長の関与については伺っておらず、関与はなかったものと認識している。また、金銭の授受等はあっていない。

歴史検証と観光立市

中瀬 昭隆 議員



市の活性化には、歴史を生かした観光への取り組みが必要である。長崎街道や大村藩の歴史、また、明治以降は軍都であり、

キリスト教史跡とともに軍都の痕跡も大事である。さらに、市外から転入された市民も「今住んでいるところがふるさと」という思いが大事である。第21海軍航空工廠殉職者慰霊塔奉賛会会長神近義光氏が書かれた近世の歴史の本を、小中学生にもぜひ読ませたいがどうか。

A 市として協力できること、できないことがあると思われるので、どのようなことを望まれているのかを含め、ご本人にお話をお聞きしたい。

ふるさと納税で学校にエアコンの設置を!!

城 幸太郎 議員



平成27年度のふるさと納税による寄附額は7億3,000万円となり、実質の収入は3億4,000万円となった。この制度は賛否両論あり、近い将来形を変える可能性があるが、しばらくは継続されると思われる。今年度も昨年度並みの寄附が期待できる。小中学校へのエアコンの設置は、「教育の充実」や「安全安心なまちづくり」等の寄附の活用メニューにも合致することから、検討してはどうか。

A 小中学校へのエアコン設置のための寄附金活用については、寄附活用検討委員会において、財源の問題だけではなく、エアコンが子どもたちの健康面に及ぼす影響なども含め、検討したい。

看護学生奨学支援金 給付制度の導入を!!

永尾 高宣 議員



看護師不足は深刻であり、今後さらに減少していくことが懸念される。地域医療を確保し、充実させ、大村市民の健康を守るためには、本市の医療を支える人材を育成する必要がある。市内の医療機関等に勤務する意思がある看護学生のために「看護学生奨学支援金給付制度」を設けることはできないか。

A 看護学生のための支援については、保育士や介護福祉士なども含め、大村市の全体的な奨学金制度の中で考えていく。また、県の看護職員修学資金制度、他市の状況、医療機関による研修助成制度の状況を十分に調査して、研究を進めていきたい。

